

令和5年度下田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・包括担当エリアの高齢化率は約24%で区内でも高い水準で、かつ高齢者独居世帯割合は約15%と区内一位の高さとなっている。 ・高齢者の中での要介護認定率が高く、特に要支援認定率は区内で一位である。 ・但し、認定者のうちの約9割近くの方が何らかの在宅サービスを利用しており、要支援認定者が要介護に悪化する傾向は少なく、比較的体調を維持されているエリアでもある。 ・要支援認定者であっても地域のイベントやケアプラザ事業に参加されている方も多く、上記の裏付けとも読み取れる。 ・山坂等起伏の大きい地形からお住まいの場所によっては集える場所への行きにくさはあり、身近なところで集まれる場所等を開拓していく必要があると認識している。 ・また、認知症に関する相談は依然と大きく、地域の認知症への理解や認知症でも通える場所づくり活動を継続する方針である。 ・地域の自治会や民児協等への支援については、引き続き、各職員が積極的に活動などに関わりながら支援していきます。 ・年度が替わり、役員の改選やエリア内の民児協の分割等があり、これまでとは違った地域の動きや活動が検討されていることから、これらを具現化させるための新たな担い手の発掘や活動の場所の提供を行います。 		
— 具体的な取組内容 —		
新規	継続	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【認知症支援事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する啓発活動の継続（認知症サポーター養成講座等） ・小中学校と協働した啓発活動により、その親に対しても認識を深めてもらう。 ・貸館団体への個別啓発活動 ・認知症であっても参加できる場づくり（下田メモリーカフェ等） ・認知症初期集中支援チームとの連携。 ・適切なサービスへの結びつけ、民生等への情報提供（家族らの同意を得て）。 ・「下田版認知症家族のつどい（家族向け認知症講座）」（仮称）の創設を試みる。 ・エンディングノートの啓発と実践。 ・任意後見制度等の啓発。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・「きょういくきょうよう講座」（仮称）の実施。 ・ラジオ体操等定期的に参加できる場の継続および開拓。 ・体力測定会等、自身を振り返る場の定期開催。 ・区域でのケアマネ向け研修の実施。 ・地域情報の提供。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症関連では区と協働し、積極的に認知症初期集中の調整をはかれた。 ・メモリーカフェやサポーター養成講座の実施により、多くの住民に対して啓発活動を行えた。 ・個別レベル、包括レベル地域ケア会議を通して認知症者の早期発見や見守りについて協議できた。 ・認知症になってもその人らしく過ごせるようエンディングノートや後見制度等の周知を積極的に行えた。 ・高齢者が健康状態を維持できるよう、「定期的に」「外出して」「身体を動かす」機会を様々な切り口から提供できた。 		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から細やかで手厚い個別支援をされています。引き続き、個別課題から地域課題を抽出検討しながら地域ケア会議等の開催に繋げ、地域との連携が更に広がるよう取り組みをお願いします。 ・地域に対してもバラエティにとんだ講座を多数企画することで、区民の関心を高める働きかけを実施しています。今後は若い世代等とも協働しながら、活動を広げていくことを期待しています。 		

令和5年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。 ・日々得られる情報について、施設独自の広報紙やホームページ、さらには独自に行っているSNS(ツイッター)等、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。 ・施設利用に関して、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他、細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。 ・横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内事業所の事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。 ・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用した内部研修を実施。 ・法人の人権委員会(虐待防止委員会)主催の研修を全職員参加。今年度は虐待防止研修として、全職員が行った、セルフチェックシートの結果を共有しながら、自身の業務の振り返りや気付きにしてもらうことができた。 ・随時部門会議や事例検討(ケースに関する情報交換を含む)の場を通じて、職員同士、自らの姿勢や取り組みの振り返りの機会とする。 ・法人・施設広報紙やホームページ、運営協議会等において、地域の方々に向けた情報提供に努めました。 ・SNS(X:旧ツイッター)を有効活用し、随時タイムリーな情報発信を心掛けました。 ・毎月実施している貸館予約会の場で、貸館事業のルール変更内容等に対して、各団体に向けて一律に周知と説明を丁寧に行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で対策検討等を行いながら事故の再発防止に努めました。 ・個人情報漏洩防止のため、業務手順・体制を定めながら、日々の業務を実践しています。 ・郵送やFAX送信時の際は、手順等を各職員が確認し合いながら行い、誤発送、誤送信の防止に努めました。 ・全職員を対象に個人情報漏洩防止研修を実施し、意識啓発に努めました。 ・個人情報漏えい事故 令和5年度1件報告(貸館申込書を他団体が持ち帰る事案あり)

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛け作りを考え地域力を高めていきます。	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いしますことがあります。	【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いしますことがあります。
職員体制	主任介護支援専門員:1人 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 2人(常勤専従2人)
契約者数	233名	78名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】週7日 【提供時間】9:15～16:20 【定員】40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額

利用 料金	【その他料金】 ●食費負担 750円／食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。	【その他料金】	【その他料金】
職員 体制	生活相談員兼介護職員：3人 看護職員：3人 介護職員：17人 運転手：8人		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 7483人 【契約者数】 86人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜山下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,163,266	487,956	19,651,222	18,868,222	783,000	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0	190,450	△ 190,450	
雑入	0	0	0	17,683	△ 17,683	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	5,883	△ 5,883	自動販売機手数料
その他			0	11,800	△ 11,800	コピー代 公衆電話使用料
その他	3,724,217		3,724,217	2,446,010	1,278,207	
収入合計	22,887,483	487,956	23,375,439	21,522,365	1,853,074	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,944,483	0	12,944,483	10,368,964	2,575,519	
本俸	9,000,000		9,000,000	9,037,086	△ 37,086	職員 非常勤職員 給与
社会保険料	1,824,483		1,824,483	1,047,631	776,852	社会保険料事業主負担
手当計	2,000,000		2,000,000	0	2,000,000	
健康診断費	26,000		26,000	18,266	7,734	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	4,000		4,000	9,750	△ 5,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	90,000		90,000	89,968	32	横浜市退職共済掛金事業主負担
その他			0	166,263	△ 166,263	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,550,000	0	1,550,000	1,294,552	255,448	
旅費	5,000		5,000	15,672	△ 10,672	職員 出張交通費
消耗品費	370,000		370,000	126,724	243,276	コピー用紙 他文房具 トイレペーパー ゴミ袋
会議備い費			0	14,155	△ 14,155	運営協議会 お茶代
印刷製本費			0	0	0	
通信費	240,000		240,000	170,849	69,151	固定電話利用料 切手代
使用料及び賃借料	540,000	0	540,000	164,131	375,869	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0	21,120	△ 21,120	行政財産目的外使用料
その他	540,000		540,000	143,011	396,989	AED レンタルモップ 会計ソフト等レンタル
備品購入費			0	32,570	△ 32,570	冷蔵庫
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	47,659	52,341	総合賠償 指定管理総合賠償保険等
職員等研修費	10,000		10,000	7,466	2,534	研修参加交通費
振込手数料	100,000		100,000	11,435	88,565	給与 業者宛振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	9,058	△ 9,058	残高証明発行手数料 冷蔵庫廃棄手数料
地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	自治会費
その他	181,400		181,400	691,233	△ 509,833	第3者評価手数料 コピー機他リース料 燃料費他
事業費	480,000	0	480,000	412,557	67,443	
運営協議会経費			0	0	0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	480,000		480,000	412,557	67,443	ミニデイ 芋ほり体験 赤ちゃん会 CP祭り 広報
その他			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	33,000	△ 33,000	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検			0	33,000	△ 33,000	太陽光発電設備保守点検
太陽光発電設備及び蓄電池修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕 (追加)			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)			0	0	0	
管理費	7,439,000	0	7,439,000	7,363,036	75,964	
光熱水費	5,972,000		5,972,000	3,726,649	2,245,351	電気 ガス 水道料金
清掃費	620,000		620,000	2,504,321	△ 1,884,321	日常 定期 照明器具 配管清掃
機械警備費	122,000		122,000	122,634	△ 634	機械警備
設備保全費	725,000	0	725,000	701,741	23,259	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	270,574	29,426	空調機器保守 冷却塔清掃 水質検査等
消防設備保守	70,000		70,000	80,199	△ 10,199	消防設備点検
電気設備保守	75,000		75,000	73,094	1,906	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	30,659	△ 659	殺虫消毒
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	250,000		250,000	247,215	2,785	自動ドア 昇降機保守点検 建物巡視点検
共益費			0	0	0	
その他			0	307,691	△ 307,691	植栽剪定 ごみゼロルート回収 粗大ごみ回収
修繕費	474,000		474,000	928,856	△ 454,856	給湯器交換修理 LED交換修理他
公租公課	850,000	0	850,000	1,121,400	△ 271,400	
事業所税			0	0	0	
消費税	850,000		850,000	1,121,400	△ 271,400	消費税
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	23,737,483	0	23,737,483	21,522,365	2,215,118	
差引	△ 850,000	487,956	△ 362,044	0	△ 362,044	

自主事業費 収入	0	0	0	190,450	△ 190,450
自主事業費 支出	480,000	0	480,000	412,557	67,443
自主事業 収支	△ 480,000	0	△ 480,000	△ 222,107	△ 257,893

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	5,883	△ 5,883	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 15,237	15,237	

※各々大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部							(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料【包括】	24,851,831	0	24,851,831	24,305,831	546,000	横浜市より	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より	
指定管理料【生活支援】	5,873,261		5,873,261	5,873,261	0	横浜市より	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	31,400	△ 31,400		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0		
雑入	0	0	0	0	0		
印刷代			0	0	0		
自動販売機手数料			0	0	0		
その他			0	0	0		
収入合計	30,879,092	0	30,879,092	30,364,492	514,600		

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,092,092	0	26,092,092	24,359,620	1,732,472	
本俸	15,652,092		15,652,092	20,259,067	△ 4,606,975	職員 非常勤職員 給与
社会保険料	5,000,000		5,000,000	3,391,918	1,608,082	社会保険料事業主負担
手当計	5,000,000		5,000,000	58,400	4,941,600	職員超過勤務手当
健康診断費	30,000		30,000	26,146	3,854	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	26,250	△ 16,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	309,652	90,348	横浜市退職共済掛金事業主負担
その他			0	288,187	△ 288,187	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,420,000	0	1,420,000	949,995	470,005	
旅費	75,000		75,000	66,374	8,626	職員 出張交通費
消耗品費	195,000		195,000	46,752	148,248	コピー用紙 他文房具 トイレトペーパー ゴミ袋
会議随費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	300,000		300,000	220,845	79,155	携帯電話 固定電話利用料 切手代
使用料及び賃借料	400,000	0	400,000	34,275	365,725	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	400,000		400,000	34,275	365,725	AED レンタルモップ 会計ソフト等レンタル
備品購入費			0	11,952	△ 11,952	事務椅子
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	47,662	52,338	総合賠償 指定管理総合賠償保険等
職員等研修費	100,000		100,000	12,176	87,824	研修交通費
振込手数料	90,000		90,000	10,566	79,434	給与 業者宛振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	4,840	△ 4,840	残高証明手数料
地域協力費			0	0	0	
その他	160,000		160,000	494,553	△ 334,553	第3者評価手数料 コピー機他リース料 燃料費他
事業費	1,119,000	0	1,119,000	324,061	794,939	
協力医	630,000		630,000	84,000	546,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000	12,322	242,678	終活講座 CM支援事業
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	180,499	△ 26,499	介護予防講座 スクエアステップ他講師謝金
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000	47,240	32,760	ラヂオ体操
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
その他			0	0	0	
管理費	2,122,000	0	2,122,000	1,957,248	164,752	
光熱水費	1,792,000		1,792,000	990,627	801,373	電気 ガス 水道料金
清掃費	160,000		160,000	665,703	△ 505,703	日常 定期 照明器具 配管清掃
機械警備費	40,000		40,000	32,598	7,402	機械警備
設備保全費	130,000	0	130,000	186,531	△ 56,531	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	71,922	△ 61,922	空調機器保守 冷却塔清掃 水質検査等
消防設備保守	20,000		20,000	21,318	△ 1,318	消防設備点検
電気設備保守	20,000		20,000	19,429	571	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,149	1,851	殺虫消毒
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	70,000		70,000	65,713	4,287	自動ドア 昇降機保守点検 建物巡視点検
共益費			0	0	0	
その他			0	81,789	△ 81,789	植栽剪定 ごみゼロルート回収 粗大ごみ回収
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	給湯器交換修理 LED交換修理他
公租公課	100,000	0	100,000	0	100,000	
事業所税			0	0	0	
消費税	100,000		100,000		100,000	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	30,979,092	0	30,979,092	27,716,924	3,262,168	
差引	△ 100,000	0	△ 100,000	2,647,568	△ 2,747,568	

自主事業費 収入	0	0	0	31,400	△ 31,400
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	240,061	248,939
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	△ 208,661	△ 280,339

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下田地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,000	6,979		6,000	6,205	-205	11,500	11,454	46	74,500	67,723	6,777	1,500	1,149	351
	その他	0	42	-42	0	0	0	0	73	-73	20,850	17,991	2,859	450	326	124
	事業・負担金収入			0			0			0	13,200	10,611	2,589	300	123	177
	利用者食事代			0			0			0	6,350	5,322	1,028	150	203	-53
	補助金		42	-42			0		42	-42		462	-462			0
	認定調査			0			0		31	-31			0			0
	利用者他給食収入			0			0			0		1,222	-1,222			0
	その他			0			0			0	1,300	374	926			0
	収入合計(A)	6,000	7,021	-1,021	6,000	6,205	-205	11,500	11,527	-27	95,350	85,714	9,636	1,950	1,475	475
支出	人件費	5,810	5,081	729			0	10,680	10,465	215	63,800	67,286	-3,486			0
	事務費	210	462	-252			0	770	929	-159	3,500	3,241	259			0
	事業費	0		0			0	50	87	-37	9,000	7,459	1,541			0
	管理費	113		113			0	360	150	210	19,000	13,419	5,581			0
	その他	2,000	2,644	-644	2,000	1,730	270	100	0	100	5,224	4,161	1,063	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0	100		100	100		100			0
	介護予防プラン委託料	2,000	2,644	-644	2,000	1,730	270			0			0			0
	利用者等外給食費			0			0			0	1,400	1,617	-217			0
	施設使用料負担額			0			0			0	3,724	2,446	1,278			0
	減価償却費			0			0			0		98	-98			0
その他			0			0			0						0	
支出合計(B)	8,133	8,187	-54	2,000	1,730	270	11,960	11,631	329	100,524	95,566	4,958	0	0	0	
収支 (A)-(B)	-2,133	-1,166	-967	4,000	4,475	-475	-480	-104	-356	-5,174	-9,852	4,678	1,950	1,475	475	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業</p> <p>3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3)</p> <p>6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1: 優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児</p> <p>4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者</p> <p>7: その他</p>
--	--	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	4: 共催 (1と2)	1: 優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか、地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園を会場に実施した。	5: 地域		ラジオ体操の実施	48	799
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちをお互い相手とし、子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会を提供する。	3: 養育者及び乳幼児		子育てサロン(情報交換のつどい)	11	109
3	喫茶マロニエ亭	平成13年度	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する。	1: 高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス	9	73
4	おはなしもだ	平成27年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	心の病を抱え外出先や悩みの吐き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン。	2: 障害児・者		精神講座「こころの病について」	4	18
5	認知症キャラバンメイト「おしゃべり九官鳥」	平成30年度	4: 共催 (1と2)	1: 優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画・運営する	5: 地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営	0	0
6	椅子に座ってセルフケア	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	足、腰の筋力が弱くなった方でもイスに座ったまま体操ができるセルフケア教室。	1: 高齢者		椅子に座っての体操	0	0
7	御食事処すずらん	平成15年度	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の独居高齢者等を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。	1: 高齢者		独居高齢者食事会	4	40
8	下田メモリーカフェ	平成29年度	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場、支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	1: 高齢者		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ	4	28
9	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではない事を周知するとともに、学校の長期休暇を利用し、児童生徒が参加できる交流の場を提供。	4: 子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習	0	0
10	下田式事例検討会	平成30年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	平常より関わりのあるケアマネジャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施	6: 事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例をもとに「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で、事例検討会を実施。	1	11
11	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働で、スキルアップのための勉強会を実施	6: 事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め、勉強会を実施。	1	17
12	しもだ畑プロジェクト	令和3年度	4: 共催 (1と2)	1: 優先的に取り組み	コロナ禍において3密を避けつつ、住民同士の交流ができる場として農業活動を企画。	5: 地域		前期・後期に分け農業活動を実施	6	34
13	親子芋ほり体験会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	未就園児とその保護者を対象に外出先を提供。6月にジャガイモ・10月にサツマイモの収穫を計画	4: 子ども・青少年		お芋ほり	0	0
14	水引体験講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	贈答品などに付けられ、さまざまな色や形がある飾りひもの水引を使って簡単なアクセサリを作成します。楽しく日本の伝統工芸を学べる連続講座	5: 地域		水引のアクセサリ制作体験	0	0
15	行政書士相談会	平成21年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	行政書士による無料巡回相談会。成年後見や遺言相続についての相談対応。	5: 地域		成年後見相談会	1	1
16	成年後見セミナー	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民に対して成年後見制度に関する普及啓発	5: 地域		成年後見の講演会	2	25
17	ババの体験赤ちゃん会	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	日吉地区およびその周辺に住む第1子の0歳児を持つババを対象に参加者同士の交流やミニシアターなど、ババのネットワークが作れるきっかけを提供する。	4: 子ども・青少年		ババ同士の交流会	0	0

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)		■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他	
--	--	---	--	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	気軽に健康大作戦!	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において外に出る機会が減ったことにより、運動機能の低下やご近所同士の交流も少なくなってきた事を受けて、ケアプラザを会場とした簡単な脳トレやセルフケアの講座を企画し、参加者の健康維持と交流をはかる	1:高齢者		「まちの先生」より、詩吟・お灸・折り紙の講師を呼び、全3回の講座を実施	0	0
19	椅子に座って健康ヨガ	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	筋力の低下を防ぐ目的で、高齢の方でもイスに座ってできるヨガを紹介する。	5:地域		イスに座ってできるヨガ	2	36
20	できていますか?オーラルフレイル予防	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	口腔機能を維持するためのトレーニング方法や嚥下機能の仕組みについて講義。	5:地域		フレイル予防	1	25
21	心のバリアフリープロジェクト	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	港北区内の法人4館による障がい理解への普及を目的に各館ごとに企画。下田ケアプラザでは港北区生活支援センターによる障がいについての講義とリンデン・カフェ社の代表による施設の概要と利用者の体験談を発表	5:地域		心の病についての普及啓発	1	15
22	きょういきょうよう講座	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	定年後に「今日、行く場所・今日の用事」を見つけ、自宅以外の場所で活動できる場とご近所での交流を目指し企画	1:高齢者		定年後の居場所づくり	0	0
23	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2023」	平成14年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体及びデイサービス利用者の作品展示。近隣の障がい施設よりお菓子や雑貨の販売も実施。	5:地域		貸館利用者・デイサービス利用者の作品展示	0	0
24	ウォーキング教室	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	下肢筋力の低下を防ぐほか住民同士の交流の場として屋外での事業を企画。	5:地域		ウォーキングの講義と実践	1	19
25	親子リトミック体験会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽を通じて体を動かすことで、子どもの力を育む。音を楽しみながら、表現力・創造力・集中力を養い親子同士の交流をはかる。	4:子ども・青少年		リトミック体験	2	46
26	フレイル予防	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイルについての説明と予防のための体操を行う	1:高齢者		フレイル予防	3	58
27	終活講座「家族信託」「老後の住まい」「エンディングノートの書き方」	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自身の老後や介護が必要になったときに備え、施設の紹介や家族信託についての講義。成年後見制度との違いなど連続講座で学ぶ	5:地域		高齢者施設の紹介や「家族信託」「エンディングノートの書き方」についての講義	1	30
28	ボランティア活動を始めてみたい方向け講座「知る活かからやる活へ」	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動を始めてみたい方向けに港北区内の9館の生活支援Coが中心となって講座を開催	5:地域		ボランティア活動の紹介	0	0
29	福祉用具説明会	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護や介助が必要な方の日常生活をサポートする福祉用具の説明会。歩行分析AIを用いた歩き方診断	5:地域		福祉用具の説明会	0	0
30	今日から実践!腸活講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	「第2の脳」と言われる腸器である腸。腸活の実践で病気の予防や改善につながる講座を通して排便習慣のコツを学ぶ	5:地域		腸活についての講義	0	0
31	睡眠セミナー	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	睡眠健康指導士による、「睡眠」のお話し。生活リズムの作り方、睡眠改善を促す体操の紹介	5:地域		睡眠についての講義と体操	1	18